

藤島地域における義務教育学校の開校時期に関するアンケート結果から（一部抜粋）

■保護者回答・全体

	ア 令和11年度	イ 令和14年度	ウ どちらでもよい	エ わからない	
全体	124人(37.46%)	110人(33.23%)	73人(22.05%)	24人(7.25%)	331

■児童回答・全体

	ア 令和11年度	イ 令和14年度	ウ どちらでもよい	エ わからない	
全体	44人(29.53%)	50人(33.56%)	38人(25.5%)	17人(11.41%)	149

■児童回答・所属校別

	ア 令和11年度	イ 令和14年度	ウ どちらでもよい	エ わからない	
藤島小学校	28人(29.47%)	29人(30.53%)	22人(23.16%)	16人(16.84%)	95
東栄小学校	12人(34.29%)	14人(40%)	8人(22.86%)	1人(2.86%)	35
渡前小学校	4人(21.05%)	7人(36.84%)	8人(42.11%)	0人(0%)	19

（最も早い早期統合の令和11年度に賛成は、保護者で3割台、児童では3割を下回る）

令和11年度開校に賛成は3割

義務教育学校の開校時期アンケート

鶴岡市教育委員会主催による「藤島地域における義務教育学校の設立と、早期統合・開校に関する説明会」が、10月28日渡前で、29日東栄で開催されました（11月4日藤島）。

藤島歴史公園「Hisu花」のイルミネーション点灯開始イベント「Hisu花 de ないと2025」が11月2日開催されます。

今年のテーマは、『ホシ★フジ〜あなたのこころのYohaku〜』。

■日時 令和7年11月2日（日曜）15時から20時

■場所 藤島歴史公園「Hisu花」及び東田川文化記念館

開校時期に関するアンケートでは、小学校4〜6年生全員にもアンケートを行いました。

最も早い早期統合の令和11年度に賛成は、保護者で3割台、児童では3割を下回りました（上表）。

統廃合の賛否は問わず、開校時期のみの設問でしたが、ささやかな抵抗が見えます。

藤島地域の前年中の婚姻数は9件、出生数は28人で、急激な地域消滅の真っ只中です。

この4年間、義務教育学校を持ち込んだ議論が加速させているのではないのでしょうか。

Hisu花 presents 藤島 Illumination イルミネーション 2025 点灯式 Hisu花 de ないと

日時 2025年 11.2 15:00・20:00 点灯開始 17:00頃 点灯は21:30まで

会場 藤島歴史公園「Hisu花」 東田川文化記念館

Schedule 15:00 音楽フェス 地元のバンドが多数演奏。点灯前の「Hisu花 de ないと」を盛り上げます！ 17:00 カウントダウン点灯式 園児のカウントダウンで15万球のイルミネーションが一緒に点灯。今シーズンのイルミネーションがここからスタート。 17:45 ステージ発表 ダンスチーム等が歌や踊りを披露。

19:00-19:30 大抽選会 協賛各社のご協力により地元の「おいしいもの」がたくさん当たる大抽選会を開催！！

19:00-20:00 大東文化大学 社会学部 Daito cafe 人気のおいしいメニューが盛りだくさん！

点灯期間 2025年 1.12 月 16:30・21:30 点灯期間中、イベントを多数開催予定！ 詳しくは右記QRコードをご覧ください

お問合せ 鶴岡市藤島庁舎 総務企画課 TEL.0235-64-5813（直通） 主催：藤島歴史公園「Hisu花」ワークショップ 共催：鶴岡市

協力：ふじしま観光協会、藤島ライオンズクラブ、庄内農業高等学校、大東文化大学社会学部、庄内空港利用振興協議会、スタンレー電気株式会社

民報 藤島

2025年 11月 2日

第 1517

編集発行 日本共産党藤島支部

生活相談所 加藤鉦一（宝徳） Tel.0235-64-3941 携帯090-8929-4221 HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いします。民報配布者にご連絡下さい（月2000円程度） 10月 26人 38,050円 9月 22人 23,350円

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑮

第13回例会詠草 昭和46年3月9日

古きより部落に伝はる古峯ヶ原講のみく じ当りて鎮火の旅へ 石川きくせ

年老いて初めて見たる東京のいづこを見ても道路と車 同人

水落ちる瀬の岩影に鮭一尾傷つきし躰じつと休めをり 石川重雄

校長も金峯詣りせしと聞く受験期の此の頃空もけはしき 石川悌三

去年の春傷めし脚を試さむと雪消えし畑を踏みしめて見る 石川鍊太郎

娘より誕生祝ふ電話来て妻は楽しげに雛飾りをり 同人

寝つかれず手帖開きて詠草と思へど心生活にもどる 海藤徳三

穏やかな冬日を共に喜べど春の気候は如何にと思ふ 同人

水澄める川登り来し鮭の群尾ひれ鼻先傷あと白く 小鷹和子

アクセルに足のとどかずハンドルにつかへる腹よ産み月近し 鈴木繁子

名曲を胎教として聞き居ればタンゴの如き胎動のあり 同人

吹雪けども炬燵の温き故郷のこよなく恋し夜勤の夜は 土田昭太郎

雑詩

其七

雑詩（ぎつし）

其の七

城貞（藤の花）

地僻人生百歳求
赤河日日見溶流
衰遅詳算命途事
誰曰彭殤共一籌

地僻の人生 百歳 求む
赤河 日日 溶として流るるを見る
衰遅 詳しく命途の事を算うれば
誰か曰 彭 殤 共に一籌

片田舎のこれといった楽しみのない人生であるが、百歳までの人生を願う。

赤川の水が毎日止まることなく流れているのを見てみると、なんととはなしに、時の流を感じる。

老齢になって詳しく運命について考えてみると、

誰が言ったのか、長寿と短命は、当たりはずれと同じことだと。

雑詩Ⅱ折に触れて感じたことを詠った詩。地僻Ⅱ片田舎。人生Ⅱ人の一生。求Ⅱ願う。赤河Ⅱ赤川。日日Ⅱ毎日。溶Ⅱ水がさかんに流れる。

衰遅Ⅱ老齡。詳Ⅱ細かに。算Ⅱ見積もる。

命途Ⅱ運命。曰Ⅱいわく。「日」じつは別

字。彭殤Ⅱ彭は、七百年生きたと言われる

仙人。殤は、成年に達しないうちに死ぬこ

と。一籌Ⅱ昔、中国の遊びの「数」とりの

道具で、一本取って当たりはずれを決める

棒のこと。



鶴岡市議会の意見書可決 新聞「農民」のトップ記事に

鶴岡市議会が、「農業の再生と食料安全保障の確立に向けた実効性のある所得補償制度のある所得補償制度の

号で紹介されました。菅井巖議員と草島進一議員が、共同で議員提案しました。

意見書調整では、民主党時代の戸別所得補償制度などに否定的な意見も出されましたが、

所得補償の実現めざし各地で大きく運動進めよう

農家経営の安定めざし各地で意見書採択進む

所得補償の実現を求める意見書を全会一致で採択
山形県鶴岡市議会



秋のグリーンウエア行動

先頭に立ち所得補償制度実現させる運動広げよう



鶴岡市議会が、「農業の再生と食料安全保障の確立に向けた実効性のある所得補償制度のある所得補償制度の

（新聞の写真は菅井巖議員）

『日本の科学者』11月号 「洋上風力発電の課題」

日本科学者会議発行の月刊誌『日本の科学者』11月号は、「洋上風力発電の課題」が特集。特集を担当したのが草島進一議員で、「まえばき」と「キーワード解説」、巻頭論文を執筆。他に8人の研究者が書いています。

日本の洋上風力発電



の問題を、「離岸距離が短すぎる」、「風車騒音による健康被害」、「渡り鳥への影響」、「決定プロセスの問題」について説明しています。元水産庁長官を務めた長谷成人氏も執筆し、漁業との調整の考え方が注目されます。

11月8日（土）に、山形大学小白川キャンパスで、同テーマのシンポジウムが企画されています。

新たな連立が怖い

自民党と連立して四半世紀余。悪政に力を貸してきた公明党が、これを改めないと一緒にはやっていけないという点・「政治資金」に、自民党がまともな対応をしなかったので、三下り半を突き付けた。

▲そんな自民党にくつついたのが日本維新の会だ。この党は、公明党よりも政治資金については強く改善を求めている事は衆目の事実。

しかし、これを後継に追いやって新たな条件を自民党が飲んだことから連立することに。

▲そんな訳で、党の総裁になったけれども「総理大臣になれない女」

ナンテ泣き言を言っていた高市さんが、維新の数等で総理大臣に。

▲新たな条件と言うのが大変な事だよ。国会議員が多いから金がかかる。だから議員数を減



きびちよ

らすという議案を今の臨時国会に提案する事なんだ。しかも、最も公平な比例を減らすんだ。議案出なければ連立を辞める脅しの声も。▲議員の数を減らすという重大な事を2党間で合意し議案にする約束とは、民主的ではない。まゝ四半世紀余も一緒だった公明が見捨てた後にくつついたものは、もつとタチが悪かろうとの声。あんなに強硬だった政治資金問題をそのままにしてまでだから。▲維新は「身を切る」と言いながら民意を削る。国会議員50人減で35億円だが、年間総額315億円の政党助成金こそ削るべきだ。▲新たな連立は得体の知れない恐ろしさを感じるんだ。悪い所に悪い物がくっつく。これを癒着と言うんだが、これは猛烈に痛いんだ。その痛みは国民へ・となるよ。（石川）